

2025年度卒業生アンケート結果（概要）
— 高千穂大学での学びと学生生活に関する満足度 —

2026年4月15日
高千穂大学

高千穂大学では、卒業時に在学学生を対象としたアンケート調査を実施し、教育内容・学生生活・学修成果に関する満足度の把握と、教育改善への活用を行っています。

本資料は、2025年度卒業合格者を対象に実施したアンケート結果の概要を、外部公表用としてまとめたものです。

調査概要

調査対象：2025年度卒業合格者

回答数：387名（卒業生総計405名／回収率95.5% 4月15日時点）

調査方法：Webアンケート

調査時期：2026年3月

1. 高千穂大学全体に対する満足度

「現時点で、高千穂大学にどの程度満足していますか」という設問に対し、以下の結果となりました。

回答区分	割合	人数
満足	約48.8%	189
やや満足	約37.7%	146
どちらともいえない	約10.9%	42
やや不満	約1.8%	7
不満	約0.8%	3

*「満足」「やや満足」を合わせると約86.6%に達しており、多くの卒業生が本学での学生生活を肯定的に評価しています。

2. 卒業学部に対する満足度

「卒業した学部に対してどの程度満足していますか」という設問では、さらに高い評価が得られました。

回答区分	割合	人数
満足	約 51.7%	200
やや満足	約 37.7%	146
どちらともいえない	約 9%	35
やや不満	約 1.3%	5
不満	約 0.3%	1

*「満足」「やや満足」は合計約 89.4%となり、専門教育・ゼミナール・教員との関わりを中心に、学部での学修に対する高い満足度がうかがえます。

3. 大学で「身についた力」（複数回答）

卒業生が「大学の授業等を通じて身についた」と回答した力は、次のとおりです。

身についた力	回答数
コミュニケーション力	218
一般的な教養	204
専門性	155
課題発見・解決能力	145
チームワーク力	144
道徳心	41
資格	40
国際的な視野	32

*対人力（コミュニケーション力）が最も高く評価されているとともに、専門知識だけでなく、社会で必要とされる汎用的能力の育成が実感されており、教養・専門・実践のバランスが取れた学修成果が確認できます。

4. 結果の特徴と評価

今回の調査結果から、高千穂大学の教育は「満足度の高さ」と「学修成果の実感」を両立していることが明らかとなりました。卒業生は、専門知識だけでなく、対話力・協働力・課題解決力といった社会的実践力を身につけていると言えます。

具体的には、以下のとおりです。

- ①大学全体・学部ともに、極めて高い満足度水準を維持していること
特に学部満足度は大学全体満足度を上回り、
- ②専門性の高い教育・少人数教育・ゼミナール教育が評価されていること
- ③否定的評価（不満・やや不満）は全体のごく一部にとどまっていること

④対人力（コミュニケーション力）・社会で必要とされる汎用的能力をはじめとして、教養・専門・実践にわたる教育が評価されていること

これらの結果は、高千穂大学が掲げる

「実学教育」「少人数によるきめ細かな指導」「学生と教員の近い距離」

といった教育方針が、卒業生の実感として支持されていることを示しています。

5. 今後に向けて

本学では、今回のアンケート結果を踏まえ、

- ・教育内容・学修支援のさらなる充実
- ・学生の学修成果をより可視化する取り組み
- ・学生一人ひとりの成長を支える教育環境の改善

に引き続き取り組んでまいります。

高千穂大学は、社会で活躍できる人材の育成を目指し、教育の質保証と改善を継続的に進めていきます。

*備考

- ・本結果は「卒業合格者」を対象とした調査結果です。
- ・数値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります